

丹波古文書倶楽部会報
古文書かわら版

第7号

事務連絡（高札場）

◎ 年頭にあたりまして

明けましておめでうございませう。本年もよろしくお願ひ申し上げます。さて、私のスパルタのごとき進行にさぞ怨嗟されている方もおられることでしょう。

しかし、いざもひとえに参加される皆様が等しく、且つできるだけ早急にごし字に熟達していただきたい一心からにはかなりません。どつかが「理解の上、当たった人の熟考を妨げるような安易なさやき」は慎み、結構間こえていきます、我慢した分はご自身が当たった時に爆発させて下さい。

丹波の古文書の世界をここに集った全員で楽しめる日が来ることを願ひします。

二〇一七年正月
丹波古文書倶楽部講師
木村修一

◎ 謹賀新年！

古文書解読能力が向上することをお祈りすることもに当倶楽部設定の事業に参画し、一層、活き活きとした時間をお楽しみ願ひします。

代表 川口利和

発行者 川口丹波守利和
編集者 延陽伯こと岸孝明
発行所 丹波古文書倶楽部

☆ 二月例会

日時 2月11日(土)

午前十時

会場 柏原住民センター

会場準備係(敬称略)

芝本満、森田尚典、小島典夫

☆ 生涯学習市民活動実践グループ

シンポジウム2017

日時 2月11日(土)

午後一時半～四時半

会場 柏原住民センター

内容

開会あいさつ(川口代表)

講演会(1時40分～2時40分)

参加料(資料代)一人3000円

詳細は募集チラシ参照

受付 展示業務等のボランティア

募集中、申込は岸孝明まで

友人知人に配布するチラシが必ず必要な人は岸まで申し出て下さい。

◎ 第15回歴史文化をめぐる地域

連携協議会の開催

1月29日(日)11時～17時

神戸大学滝川記念学術交流館

参加無料 申込×切 1月23日

詳細は募集パンフ参照

参加希望者は役員まで至急お知

らせ下さい。当会から3名参加

◎ アンケート調査の回答依頼
まだ、回答して戴いていない方、是非、岸まで回答用紙を提出下さい。

☆ 平成29年度古文書倶楽部

新規会員募集始まる。

1月15日(日)記者発表公表

左記要領にて、募集が開始されます。お友達知人等で、古文書に興味関心を持たれている方にお伝えしてあげて下さい。

・ 申込方法

各住民センター備付けの申込書、または電話連絡等(氏名住所・電話番号)により、当倶楽部役員宛お申し込みください。

・ 申込×切

平成29年2月15日(水)

・ 募集人数 200名程度

・ 講師

神戸大学大学院人文学研究科特命講師 木村 修一氏

・ 年会費(予定) 5,000円

・ 申込問合せ先電話番号

080-5355-23001

丹波古文書倶楽部代表 川口利和

☆ 三月例会の会場変更

春日住民センター大会議室

会場準備係(敬称略)

久保小枝子川原邦弘桜井三枝子

☆ 平成28年度総会

二月例会に引き続き開催

話題提供（耳袋）

自己紹介を取り上げるには、頁が足りず、紙面が中途半端に余ってしまいました。

耳袋(耳囊)は、江戸後期の巷説奇聞を集めた根岸鎮衛の随筆集。著者は名奉行としても知られ、不思議な話味のある話がてんこ盛りの本です。江戸人に做つて新しく話題提供欄を作りました。今回は「超高速！参勤交代」といつ本を紹介します。

講談社文庫 著者 土橋章弘
老中から5日以内に参内せよと命じられた磐城湯長谷藩主内藤政醇(まさあつ)が家来とともに藩お取り潰しを避けるため、韋駄天走りをして期限内に参内し、悪老中を懲らしめるという虚実織り交ぜた痛快なお話です。当初は戯曲として書かれ、同題の映画共々大当たりした作品です。

湯長谷藩も藩主内藤政醇も実在ですが、なんと、湯長谷藩の領地は市島町下竹田にもあり、代官が依田陣屋に詰めていたそうです。世間は狭いなあ。(岸孝明 記)

